

『何も残らない』 作：ポチ子

『何も残らない』 作：ポチ子

死んだら何も残らない。

死んでしまったら意味がない。

妙に明るい声で、

興奮を抑えきれていない目で、

告げられる。

この人は何を言っているんだろう。

だから死ぬんじゃないか。

何か残るなら、死にたくないだろうし、

意味があるなら、死を迷う。

もうどうだっていいから、

死ぬんじゃないか。

それにあんただって嬉しいだろ。

人が死んで、同情の声をあげる時、

楽しそうな顔をしているのが隠しきれてない。

必死に笑みをこらえて、

何をしてるんだ、あんたは。

不幸を探し歩くあんたより、

死を望む私の方が悪者だって言うのか。

そんなの間違ってる。